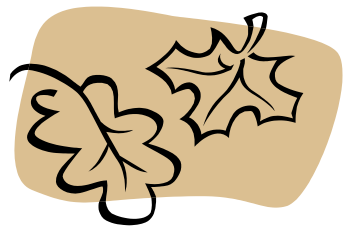


そよかぜだより

2014 6月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



6月(水無月)



今月号は関東地方も梅雨入りしました。

この時期、紫陽花(あじろ)の花が綺麗に咲いてこの季節に
この機会が増えました。この紫陽花の色は、土壌の酸度が
強く保たれていると言われています。アルカリ性の土壌では、
赤っぽい花を咲かせるといって、酸性の土壌では青紫色の花
を咲かせるといわれています。

夏は、土壌をアルカリ性に酸性に近づける肥料が市販
されています。好みの色の花を咲かせるとも梅雨の時
期に楽しみはありますか？

真夏の紫外線が強い、夜になると肌寒くなったり毎
日の気温の変化に体調を崩さないよう体調管理には気を付け
てください。

●6月休診お知らせ●

6月18日(水)

19日(木)

20日(金)



学会出席ならびにスタッフ院
内研修旅行のため休診となりま
す。宜しくお願いいたします。

歯周病と歯科治療について

今回は歯周病の歯科治療についてお話します。歯周病は歯槽膿漏
単に治す、再発率も高いことが挙げられます。歯周病は生活習慣病の
ひとつ挙げられるように、全身疾患を引き起こす可能性を有します。こ
の点から、ロコモティブ疾患、全身疾患など場ロ、多くの治療時間や
費用がかかります。

左の図は、様々な経済的要素が人におよぼす影響をあらわしてあります。注目
して頂けたのが上の歯です。この歯(歯科医療費)が経済的要素に
加わると経済的にかかりのフェイトがかかっています。歯のメンテナンスのよ
うです。

諸外国では歯科が社会保険制度で行われている国はほとんど
め、医療保険をかけ、その中でカバーするが、直接診療にかかる費用を
とります。医療保険で歯科をカバーするも掛け金が高額とも
す。そのため、家計におよぼす影響は大きい。また、家計費の中
に歯のメンテナンス費は、その医療費は相当な額になります。
このことから歯周病予防を積極的に行うことは全身疾患の予防も
かかる治療費の減少にも繋がるように思います。



参照：オーラルヘルスの全身と健康

専門外来のお知らせ

むし歯・歯の保存外来(毎週水曜日14:30~17:00)

担当:日本歯科保存学会治療認定医 山本憲廣

入れ歯・かみ合わせ外来(毎週金曜日14:30~17:00)

担当:日本補綴歯科学会専門医 伊藤誠康

歯ならび・歯列矯正外来(毎月1回、日曜日)

担当:日本歯科矯正学会認定医 中嶋亮

(当医院では患者様によって専門性を有する場合に
特別に時間をお取りさせて頂き、診療させていただきます。)

●院長のコメント

梅雨に入り、シミズメシロが続いています。このように
高温多湿になると体調を崩す方が増えることも歯周
病による急性発作が多くなる季節でもあります。すなわ
ち、歯肉が腫れた、化膿したといった症状が多くなります。
今回はこの歯周病を経済的に見た場ロの「ロコモシヨ
ン」について取り上げて頂戴しました。歯周病の治療費は世界中
で行われていますが、他の諸国は日本以上に治療費が
かかります。そのため、家計におよぼす影響が多くなると思
われています。

そのため、歯周病予防が身体全体におよぼすだけでなく、
個人、あるいは家計にもおよぼします。日本の場ロ
社会保険制度の中での治療の、経済面では比較的影響は
少ないと思われています。

しかしながら、歯周病は全身におよぼす影響は少なくない
ので、総合的医療費と考えると場合ロにかなりの影響があるとい
う点、間違いないように思います。